marantz®

8 Channel Power Amplifier

MM8003

取扱説明書

マランツの8チャンネルパワーアンプ MM8003をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。

なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社サービスセンターにお問い合わせください。

付属品の確認

ご使用の前に下記の付属品が揃っていることをご確認ください。

電源コード

リモートコントロールケーブル

保証書（箱に貼付）

取扱説明書（本書）

目次

主な特長 5

ご使用の前に 5
- 次のような場所には置かない 5
- ご使用いただく電源電圧・周波数 5
- 電源コードの取扱い 5

各部の名称 6
- 前面 6
- 後面 6

基本接続 7
- 接続に使用するケーブルの準備 7
- 入力端子の切り替え 7
- AV8003の接続 8
- スピーカーの接続 9
- 電源コードの接続 10

操作のしかた 11
- 電源を入れる 11
- 電源を切る 11

応用接続 12
- バイアンプ接続（L、Rチャンネル） 12
- バイアンプ接続（L、C、Rチャンネル） 13
- マルチゾーンスピーカー接続 14
- マルチゾーン接続 15
- リモートコントロール接続 16
- 外部コントロール機器との接続 16

困ったときは 17
- 本機のリセット 17

その他 18
- 仕様 18
- お手入れ 19
- ステレオ 音のエチケット 19
- 保証・アフターサービスについて 19

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警　告

電源プラグをコンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 製品に同梱している電源コードのみ使用してください。製品に同梱していない電源コードを使用しないでください。
- この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れる時は、機器の天面から20cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く

- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

- 風呂場や窓ぎわで雨などがかかるおそれのある所等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。電源周波数は50Hz地域または60Hz地域でご使用できます。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があけてあります。次のような使い方はしないでください。
  - この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。
  - この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
  - テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。
- この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

警　告

- この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- エアコンの下に置かないでください。エアコンから水滴が滴下した場合、汚損・故障・火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

接触禁止

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

分解禁止

- この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

注　意

- オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、テレビ等の音声を本機のスピーカーを使ってお楽しみになる前にも、音量（ボリューム）を最小にしてください。
- 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス＋とマイナス－の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがありますので、指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜたり、種類の違う電池を混ぜたりして使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ご不要になった電池を廃棄する場合は、テープなどで絶縁し、各地の地方自治団体の指示（条例）に従って火気のない場所に処分してください。
- 電池はお子様や幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまった場合は、ただちに医師の診断を受けて下さい。

電源プラグをコンセントから抜く

- 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。
- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所や振動のある所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 次のような異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
  - 直射日光が当たる場所
  - 窓を閉めきった自動車の中
  - 火や暖房器具など熱を発生する機器の近く
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

注　意

● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

● 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス＋端子とマイナス－端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

● この機器の上に物を置かないでください。この機器の上には通気孔があります。通気孔をふさぐと中に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

● この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

● 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

● 長期間使用しない時は、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。電池が液もれしている場合は、ただちに電池を処分してください。この際、液が皮膚や衣服に付着すると火傷するおそれがありますので、取扱いには十分ご注意ください。誤って液が付着してしまった場合は、ただちに水道水で洗浄し医師の診断を受けてください。
ケース内に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● 使用中および使用直後は、操作部、後面接続端子部以外は高温になっているので手を触れないでください。やけどの恐れがあり、危険です。特に上面など高温部には触れないでください。

AMP_080311F1

主な特長

本機はマランツのフラッグシップモデルの設計テクノロジーを損なうことなく、機能を充実させた、多くのサラウンドフォーマットサウンドに対応する8チャンネルパワーアンプです。

電流帰還型ディスクリートパワーアンプ

マランツのHi-Fi パワーアンプ、SM-11S1に搭載されているコンプリメンタリー・プッシュプル回路を使った電流帰還型パワーアンプを全8チャンネルに搭載しています。このため、動作の安定度が向上し、ハイスピード・ワイドレンジな高密度の再生を実現しています。
パワーアンプの後段の電流・電圧変換増幅部は高域まで低歪で増幅するウィルソン型カレントミラー回路を搭載しています。

瞬時電流供給能力の向上

パワーアンプの最終段は、マランツのHi-Fi パワーアンプ、SM-11S1に搭載されているLAPT(高性能のパワートランジスタ)を搭載し、瞬時電流供給能力の向上を実現しています。
各チャンネルへの電源供給部は銅製バスバーを搭載しています。
電源部は積層コア、珪素鋼板コアリング等の内部構造とシールドケースにより低ノイズ、低漏洩磁束を実現した大型トロイダルトランスを搭載しています。
電源部の主要部品の一つである、ブロックコンデンサーには音質検討を重ねたマランツオリジナル部品100,000µF(50,000µF/71V×2)を搭載しています。
これらの電流供給能力の向上により、臨場感あふれるパワフルなサウンドをお楽しみ頂けます。

ピュアサラウンド思想に基づく高音質設計

8チャンネルアンプから排出される熱を効率良く処理するためにチムニー(煙突)型のヒートシンクと静音性に優れたクーリングファンを搭載しています。クーリングファンのコントロールは、高精度な温度センサーICを使用して、アンプの発熱量の変化に応じて回転数を可変します。
これらにより、静音性に配慮したハイエンドシアターを想定した贅沢な仕様となっています。
シャーシは高周波ノイズからアナログ音声回路を守る銅メッキシャーシを搭載しています。これはスーパーオーディオの繊細な音場を損なわずに再現するのに重要な技術です。
その他に、高級オーディオコンデンサ、フィルムコンデンサなどの高品位パーツを随所に採用した高音質設計がされています。

BALANCED/UNBALANCEDの切り替え機能

用途に応じて、BALANCED入力とUNBALANCED入力を各チャンネル毎に選択することができます。

リモート・パワー・コントロール

マランツのAVプリチューナーAV8003と接続し、AV8003の電源ON/OFFに連動して、本機の電源がON/OFFするリモートパワーコントロール機能を搭載しています。
AV8003との接続はアースループを作らないグランド・フローティング接続とし、音質への悪影響を極力おさえました。

その他の機能

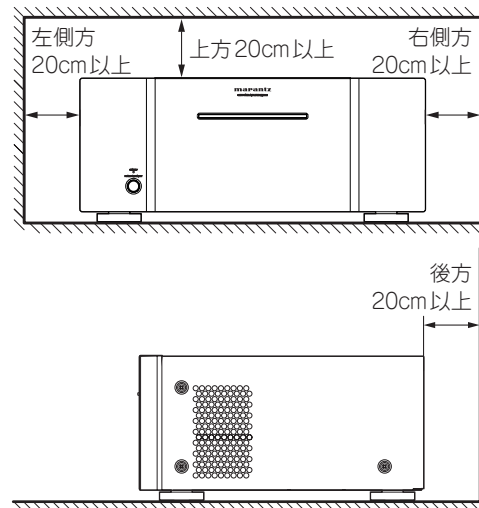
カスタムインストールに対応するIRフラッシャーインプットやDCトリガーインプット、アウトプット端子を装備しております。

ご使用の前に

次のような場所には置かない

本機を末永くご使用いただくために、次のような場所には置かないでください。

- 直射日光が当たる所
- 暖房器具など熱を発生する機器に近い所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 振動のある所
- ぐらついた台の上や傾斜のある不安定な所
- 天地の狭いオーディオラックなど放熱を妨げる所

放熱のため、本機を下図の通りに壁や他の機器等から離して設置してください。
特に本機右側の通風孔付近は高温になります。
放熱のためのスペースを十分に確保して、通風孔周辺には物を置かない様に設置してください。

上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。通風孔をふさぐと事故や故障の原因になります。

使用中・使用直後に通風孔などの高温部には触れない

使用中と使用直後は、操作部、後面接続端子部以外は高温になっているので手を触れないでください。やけどのおそれがあり危険です。特に通風孔などの高温部には触れないでください。

ご使用いただく電源電圧・周波数

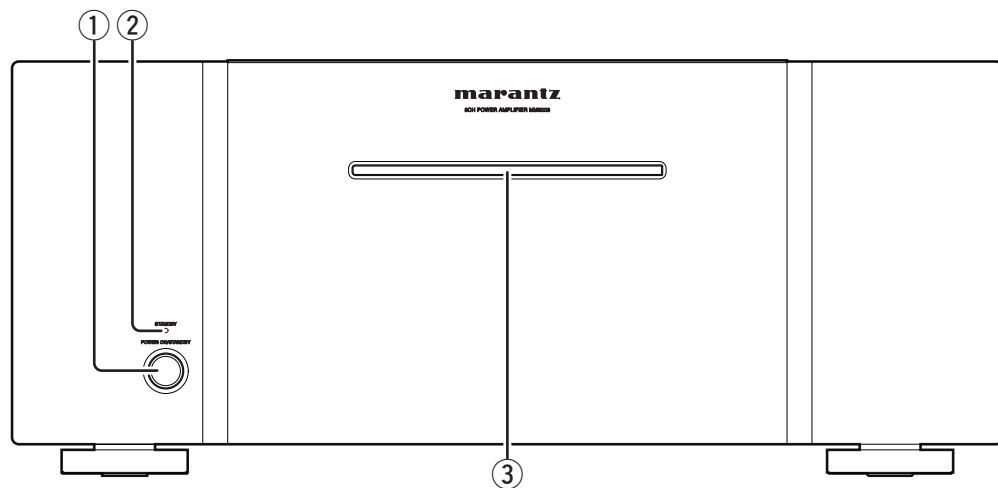
- 電源電圧は、交流100Vをご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz地域または60Hz地域でご使用できます。

電源コードの取扱い

- 濡れた手で触れないでください。
- 電源コードは、かならずプラグを持って抜いてください。
  コードを強くひっぱったり、折曲げたりしますと、コードがいたみ、感電や火災の原因になります。
- お出かけ前には、かならずプラグを抜く習慣をつけましょう。
- 製品に同梱されている電源コードは、本製品にのみ使用できます。本製品以外には、この電源コードを使用することができません。

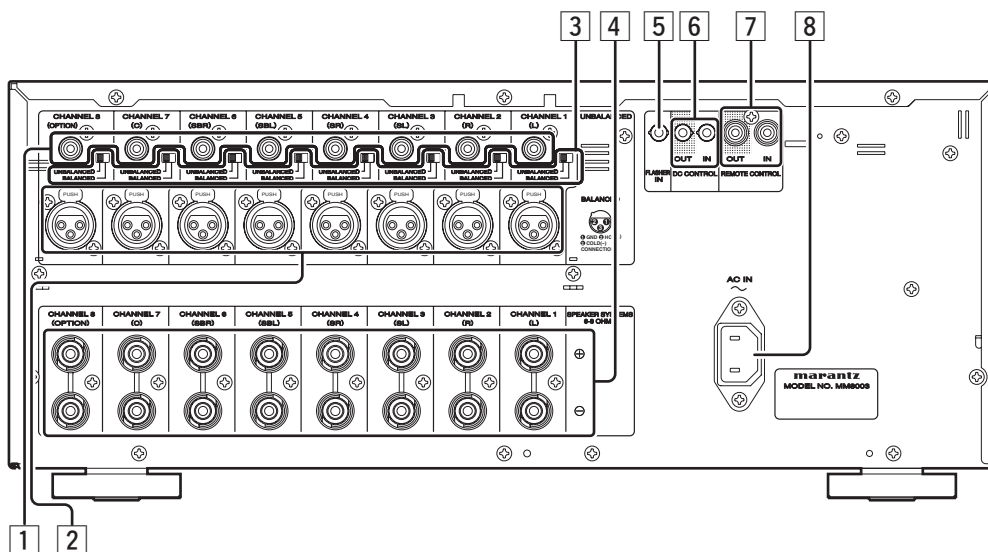
各部の名称

各部のはたらきなどの詳しい説明については、（　）内のページ を参照してください。

前面

① POWER ON/STANDBYボタン（11ページ）

② STANDBY（待機状態）インジケーター（11ページ）

③ イルミネーションランプ（11ページ）

後面

1 UNBALANCED（アンバランス：RCA）入力端子（8ページ）

2 BALANCED（バランス：XLR）入力端子（8ページ）

3 入力切替スイッチ（7ページ）

4 SPEAKER SYSTEMS出力端子（9ページ）

5 フラッシャー入力端子（15ページ）

6 DC CONTROL IN/OUT端子（15ページ）

7 REMOTE CONTROL IN/OUT端子（15ページ）

8 電源コード接続端子（10ページ）

基本接続

接続に使用するケーブルの準備

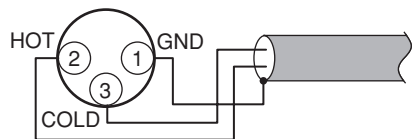
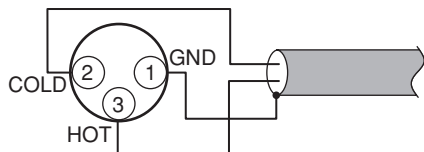
お使いになる機器に合わせて、ケーブルをご用意してください。

BALANCED接続

XLR オーディオケーブル

①本機ではBALANCED端子に、プロフェッショナル用として広く採用されている ,XLR コネクターを使用しています。その特長は以下のとおりです。
- 3ピン構造のため、音楽信号を平衡信号で伝送でき,外来ノイズの影響が少ない
- 看脱ロック機構のため、コネクター部のぐらつきが少なく,信頼性が高い

②XLR コネクターの接続方法は、プロフェッショナル用としてタイプが二通りあります。

1. ヨーロッパ方式（②PIN=HOT ③PIN=COLD）

2. USA方式（②PIN=COLD ③PIN=HOT）

③本機では ,1.のヨーロッパ方式を採用しています。本機と、USA方式を採用しているプリアンプやコントロールアンプをBALANCEDケーブルで接続すると ,信号が逆位相になります。
信号の位相を正しくするには、片側のXLR コネクターの②PINと③PINを逆になるようにつなぎ換えてください。

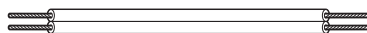
UNBALANCED接続

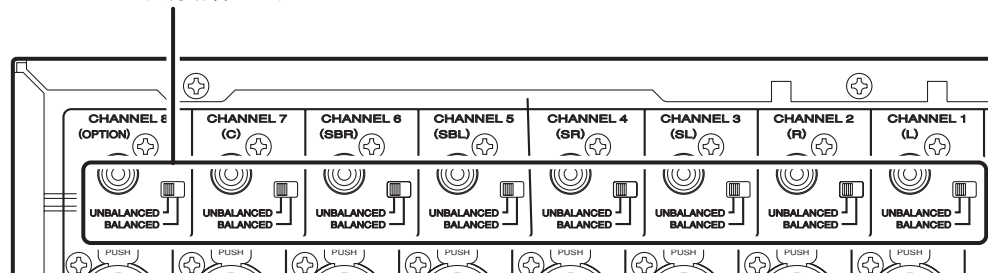
RCA オーディオケーブル

リモートコントロール接続

RCA ケーブル（付属品）
（本機とAV8003等のマランツ製品を接続するときに必要になります）

スピーカー接続

スピーカーケーブル

入力端子の切り替え

入力端子のBLANCEDとUNBALANCEDをチャンネルごとに切り替えます。

BLANCED：
コントロールアンプとの接続にXLR オーディオケーブルを使用します。

UNBALANCED：
コントロールアンプとの接続にRCA オーディオケーブルを使用します。

ご注意

- 入力切替の設定は必ず電源を入れる前に行ってください。電源を入れた状態で切り替えると、故障の原因になります。
- 本機の入力と入力切替スイッチの設定が異なっている場合本機から音声出力がされません。

AV8003の接続

本機とAV PRE TUNER AV8003を接続し、基本的な7チャンネル再生でご使用になる場合の接続例です。
BALANCED入力をご使用の場合はXLRオーディオケーブル、UNBALANCED入力をご使用の場合はRCAオーディオケーブルを使用して、コントロールアンプのPRE OUT端子と本機の入力端子を接続します。
AV8003以外のコントロールアンプをご使用の場合もこの接続例を参考にしてください。

ご注意

- 全ての接続が完全に終わるまで、本機や他の機器の電源コードを電源コンセントに差し込まないでください。
- 接続コードのプラグは確実に接続端子に挿入してください。不完全な接続は、雑音の原因となります。
- 本機と接続するそれぞれの機器については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

BALANCED接続

AV PRE TUNER AV8003

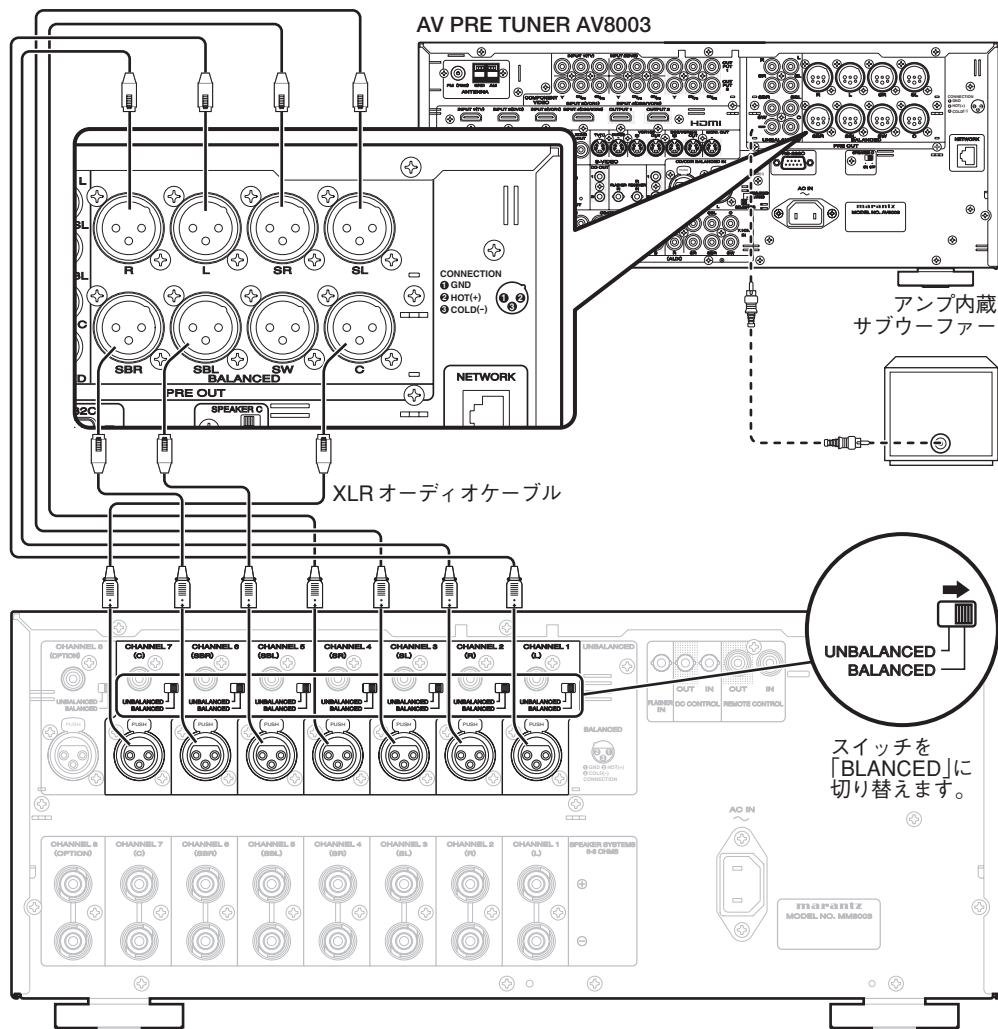
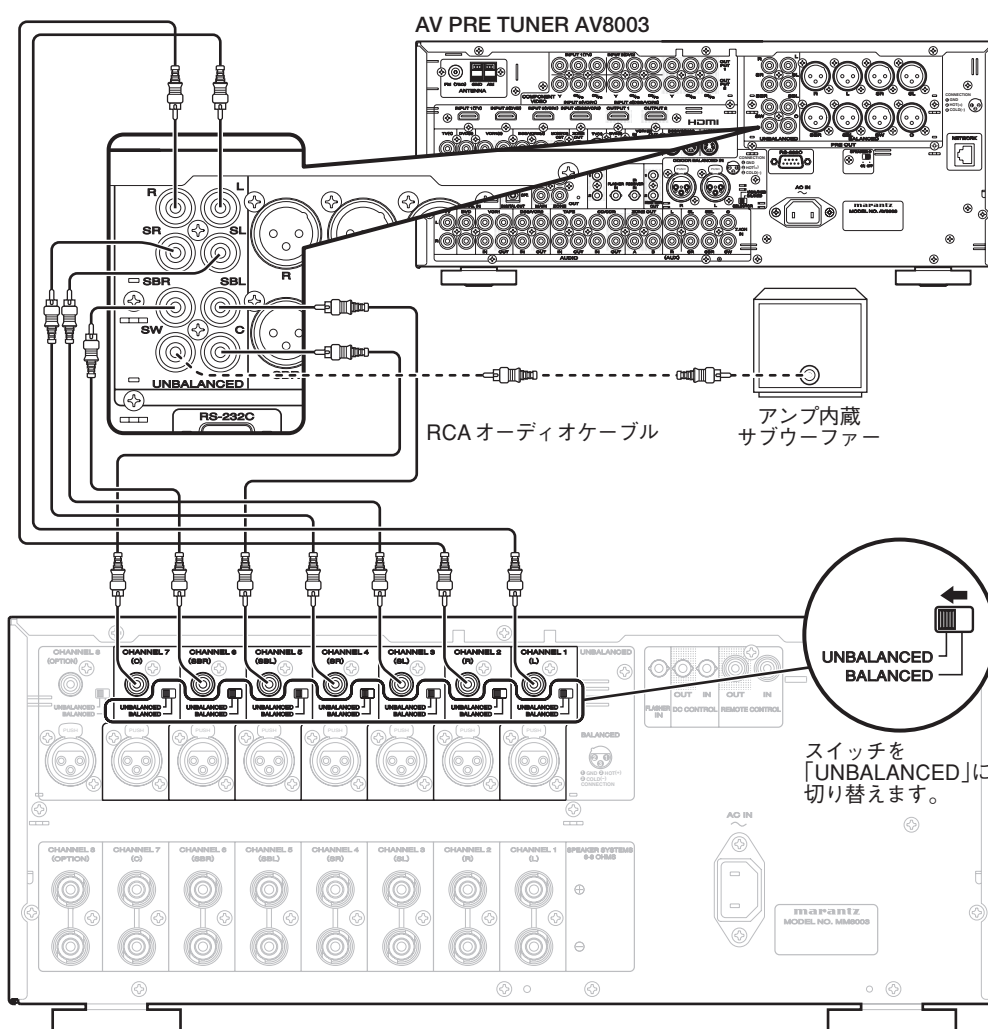
R L SR SL
SBR SBL SW C
BALANCED
PRE OUT
CONNECTION
❶ GND
❷ HOT(+)
❸ COLD(−)
NETWORK

アンプ内蔵
サブウーファー

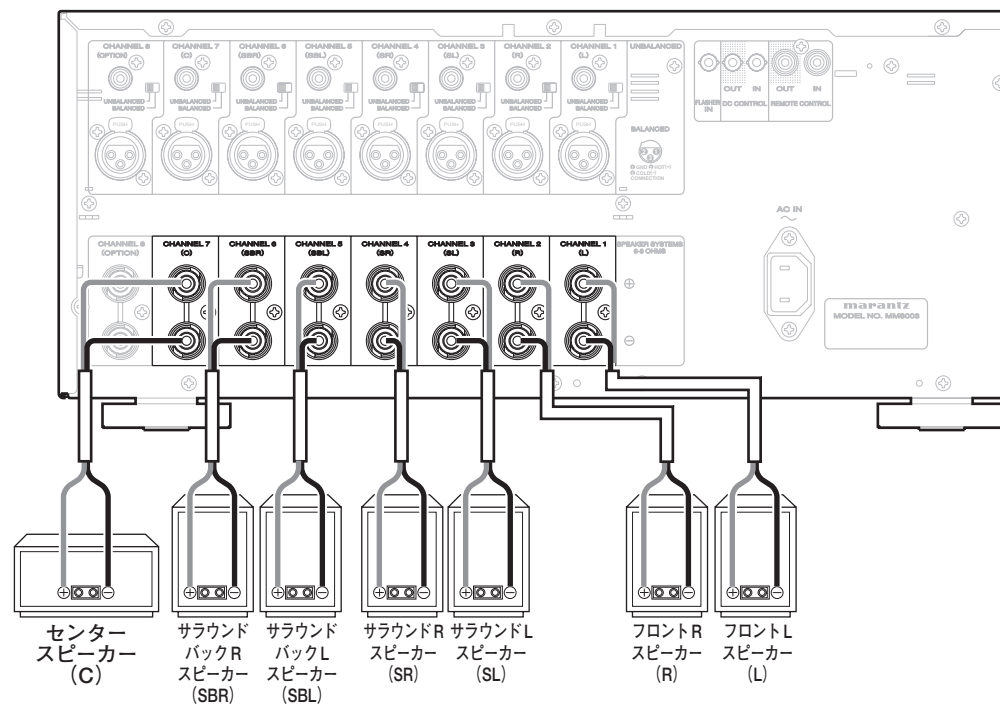
XLR オーディオケーブル

UNBALANCED
BALANCED

スイッチを
「BLANCED」に
切り替えます。

CHANNEL 7 (C) CHANNEL 6 (SBR) CHANNEL 5 (SBL) CHANNEL 4 (SR) CHANNEL 3 (SL) CHANNEL 2 (R) CHANNEL 1 (L)

UNBALANCED接続

スピーカーの接続

下図を参考に本機にスピーカーを接続します。

ご注意

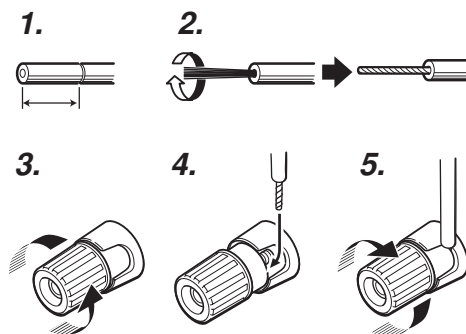
- スピーカーには極性があります。本機にスピーカーを接続する際に極性を間違えないように接続してください。間違えると信号の位相は反転し、再生される音楽は不自然になります。スピーカーの取扱説明書を参照し、正しく接続して下さい。
- 本機には6 Ω以上のインピーダンスのスピーカーシステムを接続してご使用下さい。

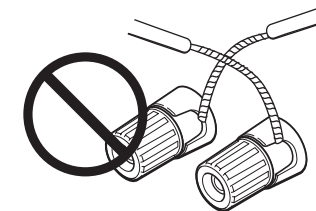
  インピーダンスが6 Ω未満のスピーカーを使用して長時間大音量で再生されますと、本機の温度が著しく上昇して保護回路が働く場合があります。
- 本機とAV PRE TUNER AV8003を接続してサラウンドバックスピーカーを1ch（1本）でご使用になられる場合はサラウンドバック Lチャンネル（SBL）に接続します。

  この場合、AV8003での設定が必要になります。（詳細はAV8003の取扱説明書を参照して下さい。）

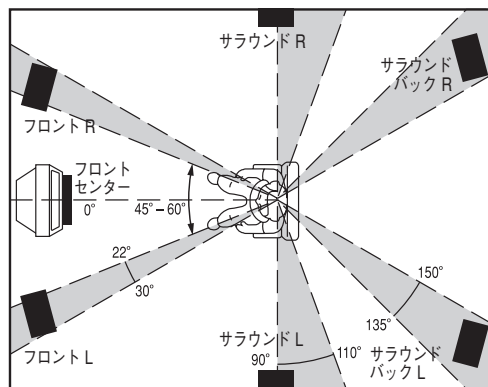
  AV8003以外のコントロールアンプをご使用の場合は、ご使用になる機器の取扱説明書に従って正しく接続して下さい。

スピーカーコードについて

1. スピーカーケーブルの被覆を約10mm取り除きます。
2. ショート防止のためケーブルの裸部分をきつくよじってください
3. スピーカー端子を左方向に回して、端子をゆるめます。
4. スピーカー端子の側面にある穴にスピーカーケーブルの裸部分を挿入します
5. スピーカー端子を右方向に回して、端子を締めます。

ご注意

- 回路への損害を防止するため、裸のスピーカーコード同士を接触したり、本機の金属部分に接触させたりしないでください。

- 感電の恐れがあるので、電源がONのときはスピーカー端子に触れないでください。

配置のポイント

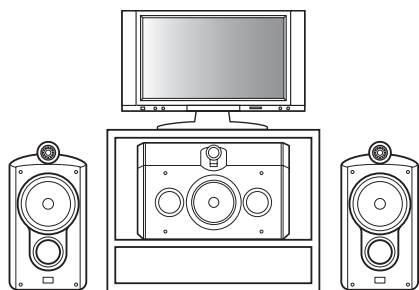
スピーカーの配置は、実際にご使用になる部屋の大きさなどによって異なりますが、ここでは各スピーカーの基本的配置例と配置のポイントを説明します。

- **フロント L/R スピーカー**

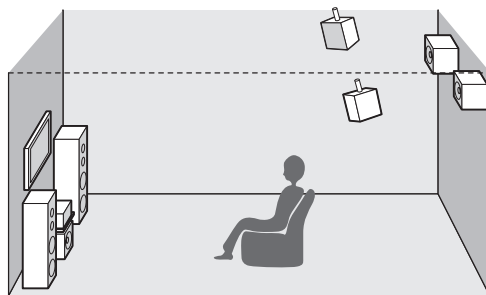
リスニングポジションから見て L と R のスピーカーが 45 度〜60 度の角度を持つように設置することを推奨します。

- **センタースピーカー**

フロント L/R スピーカーと前面を揃えるか、または少しだけ後方にずらして設置します。

フロント L/R スピーカー、センタースピーカーの配置の高さ

3 本のフロントスピーカー（L、R、センター）の中・高域用ユニットをできる限り同じ高さに揃えます。

ご注意

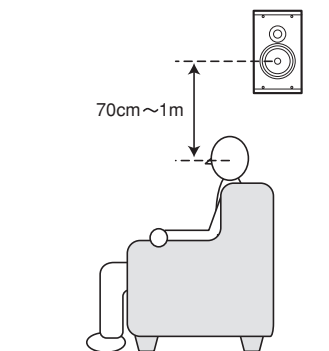
スピーカーをテレビの近くに置く場合、フロント L/R およびセンタースピーカーは防磁型のスピーカーをご使用ください。

- **サラウンド L/R スピーカー**

サラウンド再生に必要なスピーカーです。リスニングポジションの真横または少しだけ後方にずらした壁際に設置します。スピーカー前面の中心が、部屋の中心を向くようにします。

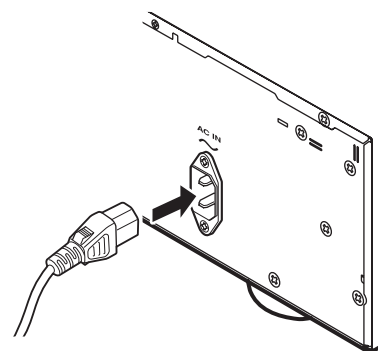
- **サラウンドバック L/R スピーカー**

リスニングポジションから見て、図のように後方に設置します。

サラウンド L/R スピーカー、サラウンドバック L/R スピーカーの配置高さ

リスナーより 70 センチから 1 メートル程度上方に設置します。
この位置で設置することにより、音源の定位を際立たせず、より包み込むようなサラウンド感を実現します。

電源コードの接続

電源コードはすべての接続が終わってから接続してください。

1. **付属の電源コードを本機の背面の電源接続端子に差し込んでください。**

2. **電源コードのプラグを壁面の電源コンセット（AC100V、50/60Hz）へ接続してください。**
   ※ コンセントに接続する他の機器との消費電力の合計がコンセントの容量を超えないように注意してください。

ご注意

- 電源プラグは確実に差し込んでください。不完全な接続は、雑音等の発生の原因になります。
- 他製品の AC アウトレットには接続しないでください。AC アウトレットの容量を超えて使用した場合、製品故障の原因になります。

操作のしかた

電源を入れる

1. **POWER ON/STANDBY スイッチを押す。**

2. **スタンバイインジケーターが消灯してイルミネーションが約7秒間点滅したあと、音声が出力されます。**

これは電源が入れられた後、本機の回路が安定動作するまで雑音の出力を防止するためのミューティング回路が働いているためです。
（イルミネーションは本機が動作中は常に点灯状態になります）

ご注意

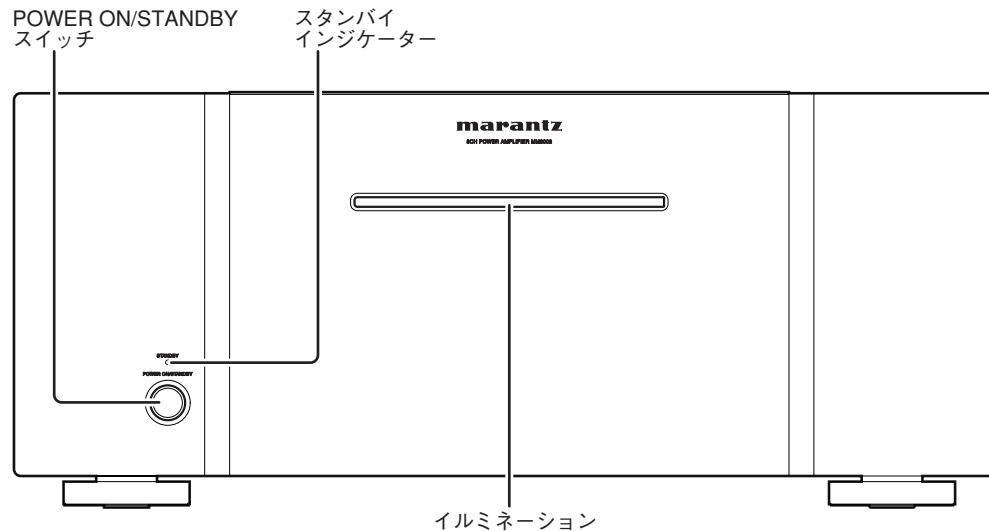
電源を入れるときは、接続している機器のボリュームを絞っておいてください。

電源を切る

1. **POWER ON/STANDBY スイッチを押す。**

2. **イルミネーションが消灯してスタンバイインジケーターが点灯し、本機はスタンバイ状態になります。**

ご注意

本機をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。
長期間、外出するような場合は本機の電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
また、万一の事故防止のためにいつでもプラグがコンセントから外せるように、配置してください。

応用接続

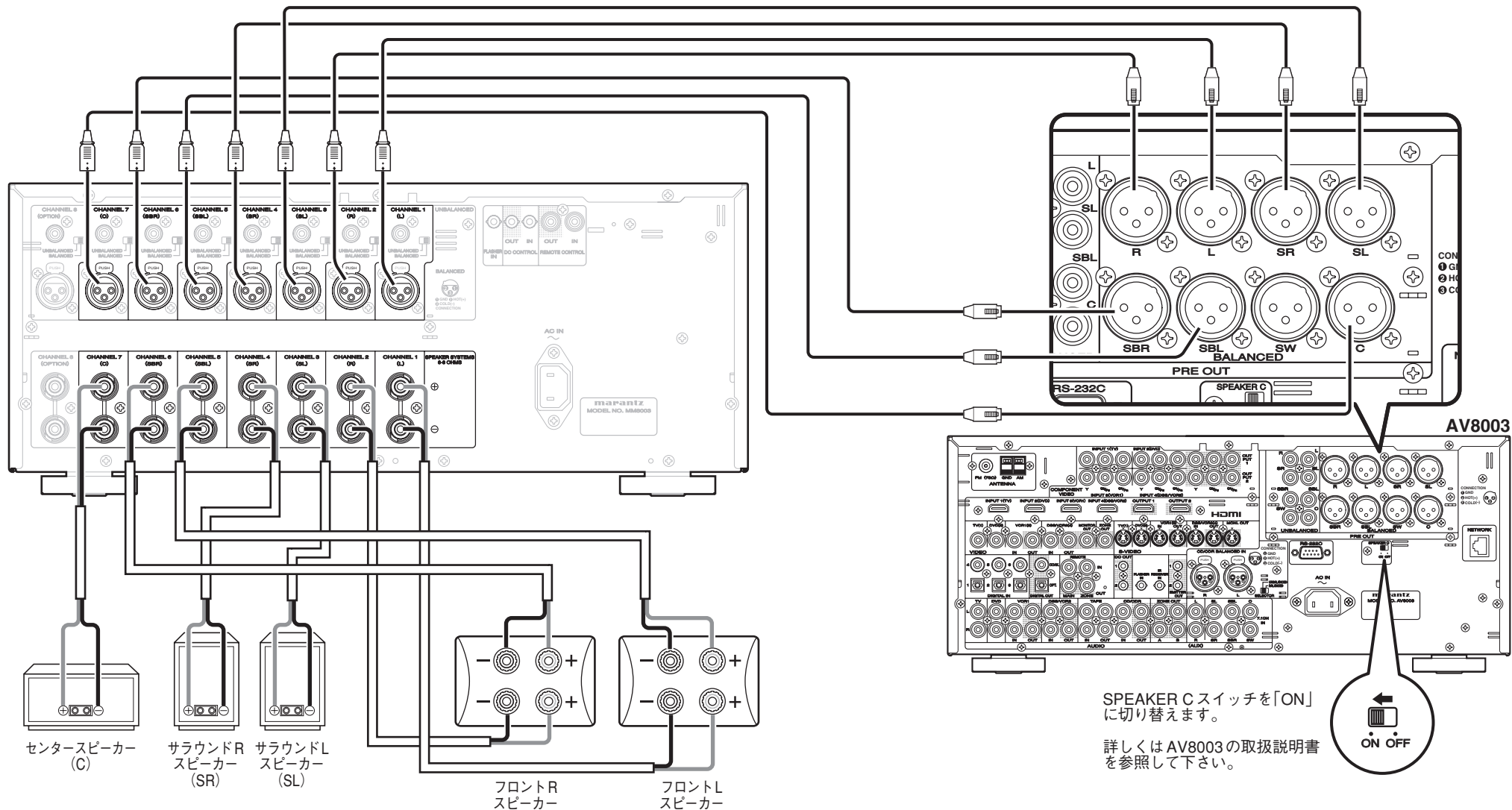
バイアンプ接続（L、R チャンネル）

L チャンネルおよびR チャンネルのスピーカーシステムに本機のパワーアンプを４チャンネル使って、バイアンプ接続します。
接続する前に、スピーカーシステムがバイアンプ接続に対応していることをご確認してください。

バイアンプ接続とは：

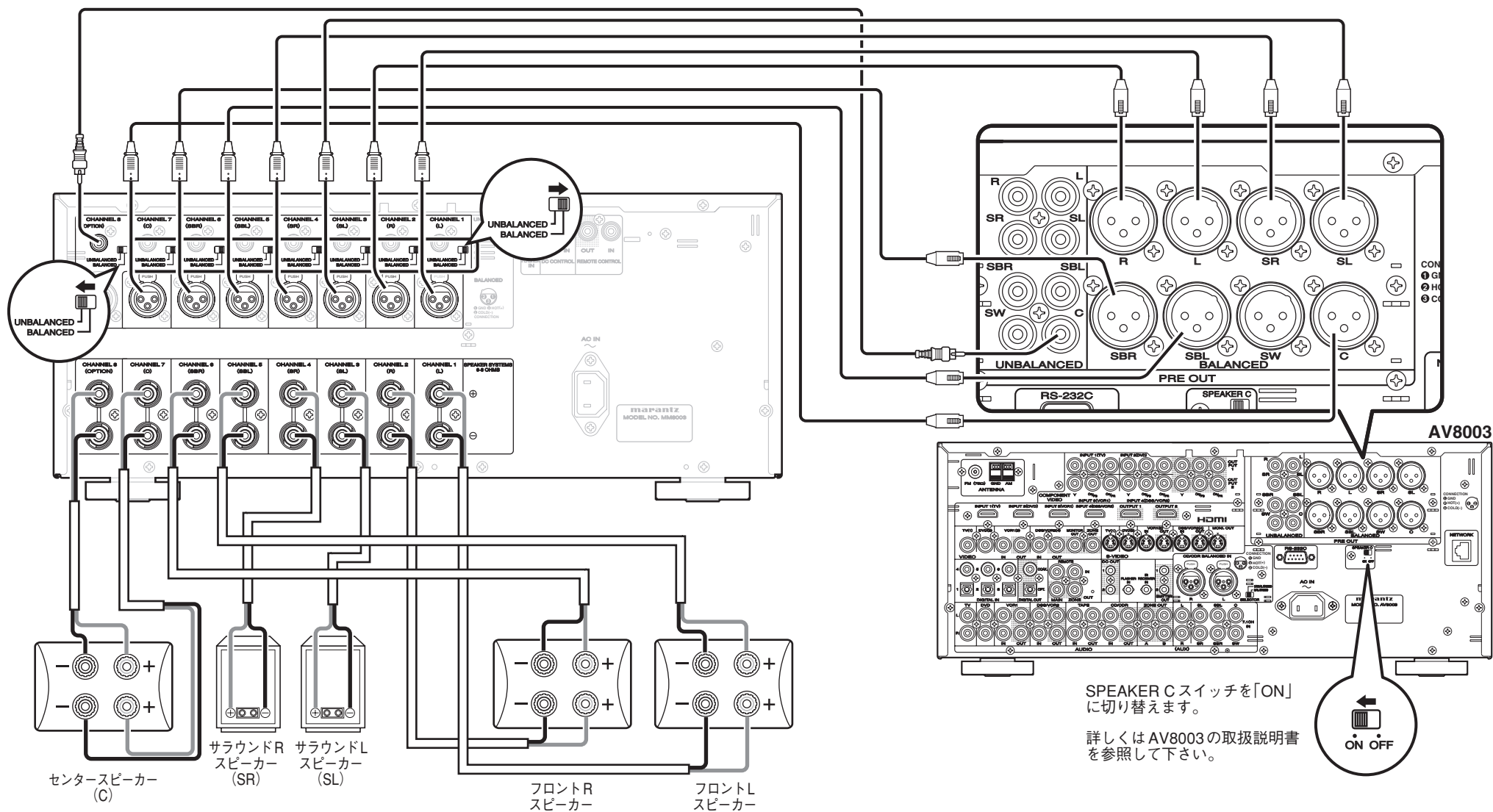
音質を向上させるテクニックの一つで、低音用と中高音用のスピーカーに別々のパワーアンプを接続します。これにより、低音用スピーカーユニットで発生した逆起電力による中高音への干渉を少なくすることができ、フロントスピーカーの音質をグレードアップさせます。

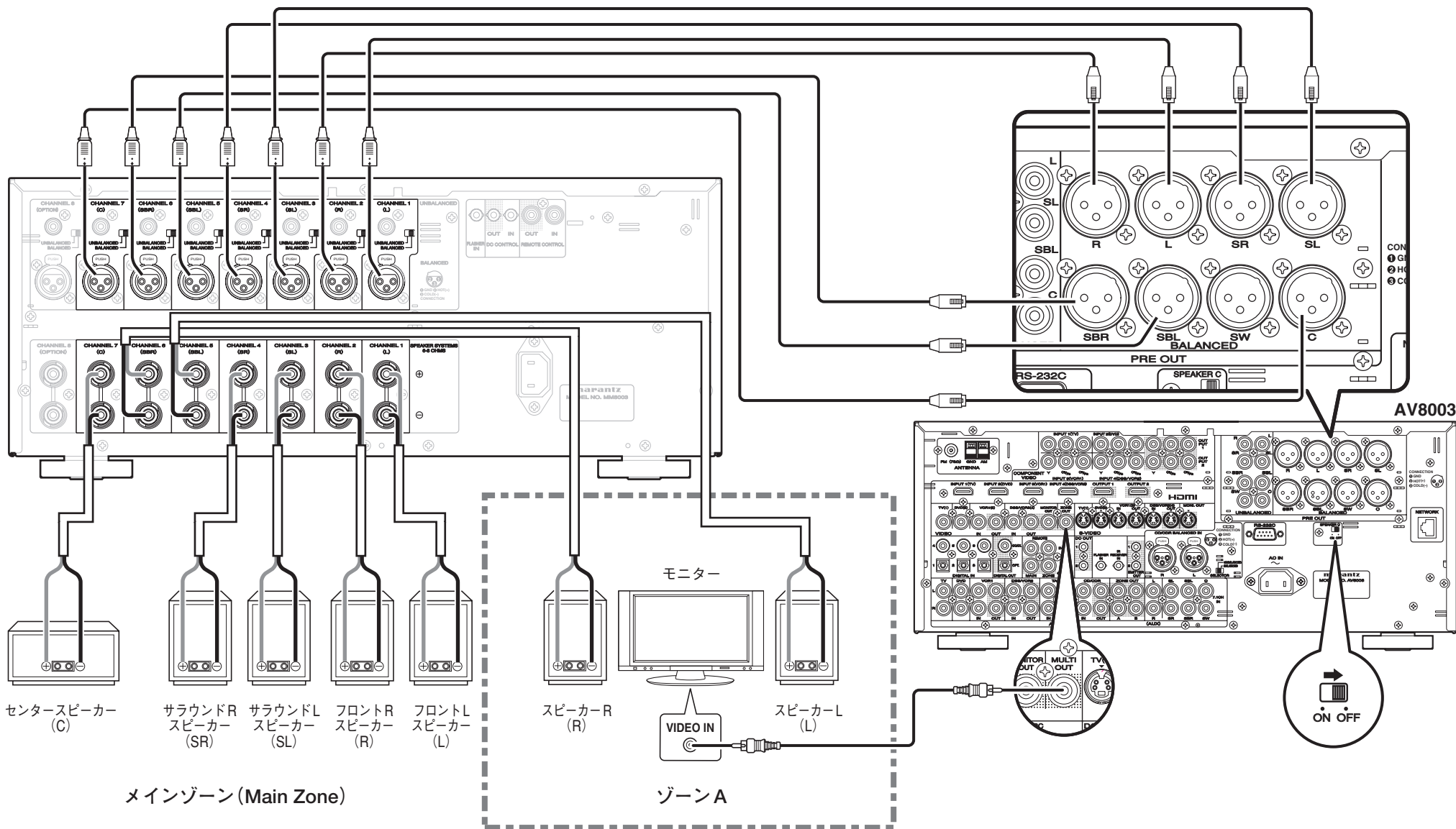
ご注意

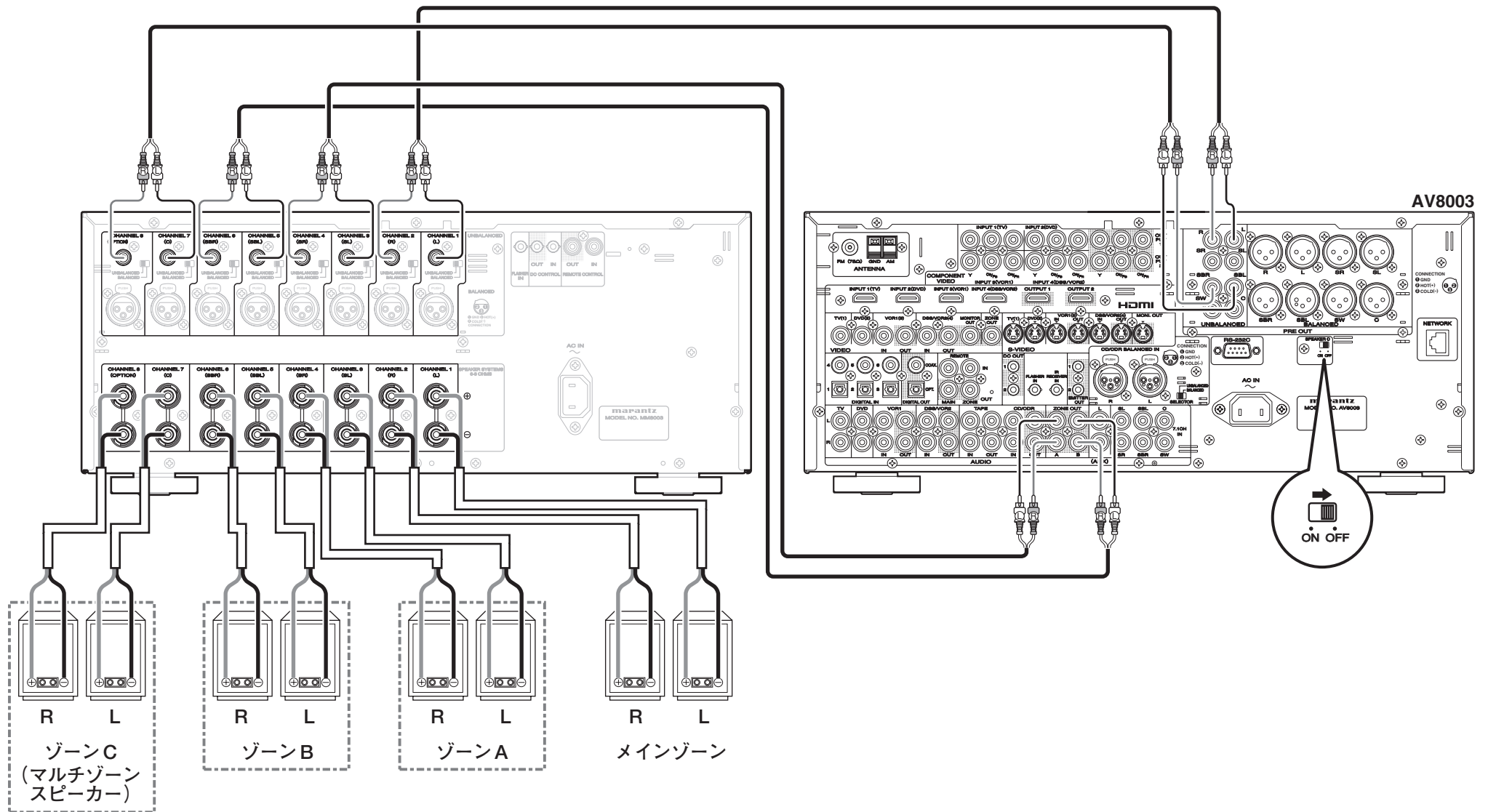
- 接続例ではバランスケーブルを使用しています。（アンバランスケーブルでもバイアンプ接続ができます）
- AV8003と組み合わせてLおよびRチャンネルスピーカーシステムをバイアンプ接続にした場合、サラウンドバックチャンネルはご使用できなくなります。

バイアンプ接続（L、C、Rチャンネル）

フロントスピーカーシステム（L、C、Rチャンネル）に本機のパワーアンプを6チャンネル使って、バイアンプ接続します。接続する前に、スピーカーシステムがバイアンプ接続に対応していることをご確認してください。

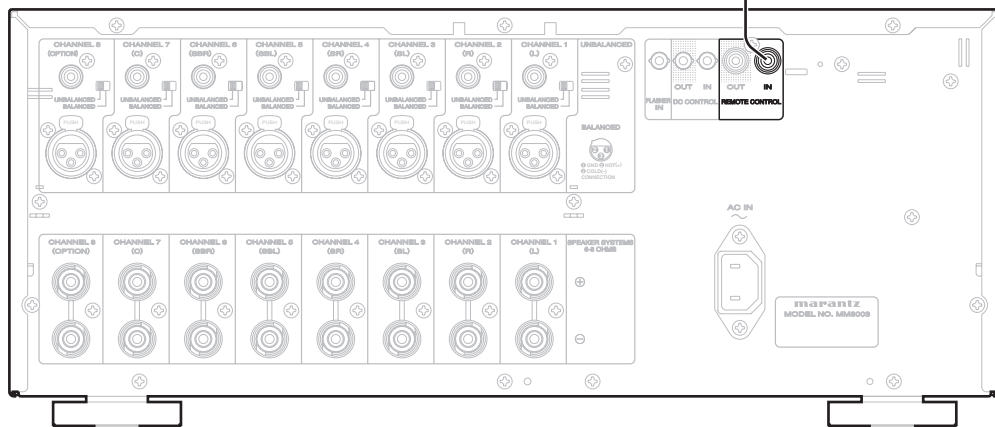
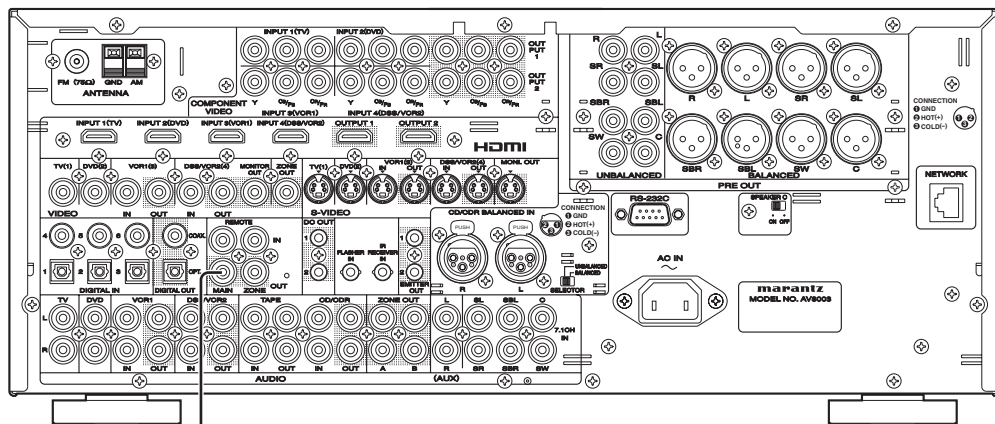
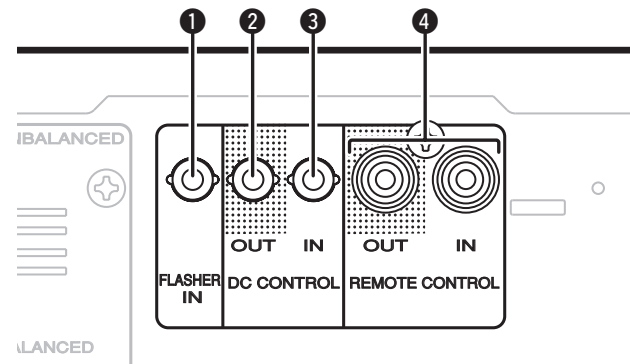
ご注意

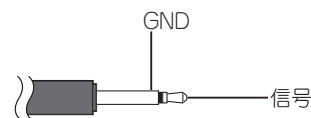
- 接続例では7本のバランスケーブルと1本のアンバランスケーブルを使用していますが、1本のバランスケーブルと7本のアンバランスケーブルを使用しても同様なバイアンプ接続ができます。
- AV8003と組み合わせてLおよびRチャンネルスピーカーシステムをバイアンプ接続にした場合、サラウンドバックチャンネルはご使用できなくなります。

マルチゾーンスピーカー接続

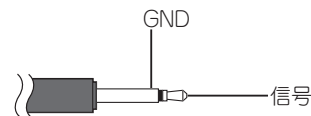
AV8003と組み合わせて本機のパワーアンプの2チャンネルをマルチゾーンスピーカー用に使用したときの接続例です。
マルチゾーンスピーカーの機能についてはAV8003の取扱説明書を参照してください。

マルチゾーン接続

AV8003と組み合わせて本機のパワーアンプの３組をマルチゾーン用に使用したときの接続例です。
メインルームと合わせて最大４部屋でステレオ再生をおこなうことができます。
マルチゾーンの機能についてはAV8003の取扱説明書を参照してください。

リモートコントロール接続

AV8003と本機をリモートコントロール端子で接続することにより、AV8003のSTANDBY ON/OFF操作に同期して本機をSTANDBY ON/OFFすることができます。
接続するときは、AV8003のREMOTE CONTROL OUT端子と本機のREMOTE CONTROL IN端子を付属のRCAケーブルで接続します。
操作についてはAV8003の取扱説明書を参照してください。

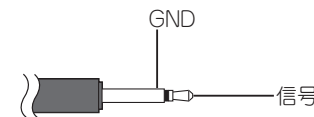
AV PRE TUNER AV8003

外部コントロール機器との接続

❶ フラッシャー入力端子

キーパッドなどを用いて各部屋から本機をコントロールする際に使用します。

❷ DCコントロール出力端子

本機の電源の入/切と連動させて外部機器をコントロールするときに使用します。
DCコントロール出力端子は、本機の電源がOFFのときに0Vを出力し、ONのときにはDC12Vを出力します。

ご注意

- DCコントロール出力端子の出力電流は最大44mAです。接続する機器の取り扱い説明書を確認してから接続してください。
- DCコントロールアウト端子を外部機器の電源として使用しないでください。

❸ DCコントロール入力端子

DCコントロール出力端子を持つ外部機器と接続して使用します。
この端子に接続した機器の電源の入/切に連動して本機の電源の入/スタンバイの切り替えをおこなうことができます。
詳しくは接続する機器の取扱説明書を参照してください。

ご注意

DCコントロールイン端子はDC5VからDC15Vの範囲の電圧が入力されると本機の電源がONします。（0Vの入力でスタンバイ）

この範囲を超えた電圧を入力すると故障の原因になるので注意してください。

❹ リモートコントロール端子

他のマランツ製品とシステムを組み、本機をコントロールするときに使用します。他のマランツ製品のREMOTE CONTROL OUTと本機のREMOTE CONTROL INを、他のマランツ製品のREMOTE CONTROL INと本機のREMOTE CONTROL OUTを接続して使用します。

Note:

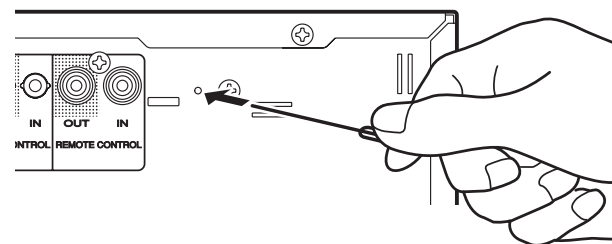
AV8003と接続することによって、AV8003の電源オン/スタンバイに連動して、本機の電源もオン/スタンバイさせることができます。
詳細はAV8003の取扱説明書を参照してください。

困ったときは

困ったときは下記の項目をチェックしてください。意外な操作ミスや接続ミスで故障と思われていることがあります。
下記の項目をチェックしても直らない場合は、お買い上げになった販売店、お近くの株式会社マランツコンシューマーマーケティング各営業所、お客様センター、または当社サービスセンターにご相談ください。

症　状	原　因	対処法	関連ページ
本機の電源が入らない。	電源プラグが接続されていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	10
スピーカーから音が出ない。	接続コード（入力）やスピーカーコードが正しく接続されていない。	コード類の接続を確認してください。	8、9
	入力切替スイッチが接続している入力端子（BALANCED / UNBALANCED）に合わせて切り替えられていない。	入力スイッチを本機に接続している入力に合わせて切り替えてください。	7
突然電源が切れてスタンバイインジケーターがおそい点滅をしている。 （1秒間に約2回点滅）	機器内部の温度上昇により、保護回路が働いている。	• 一度電源を切って、本機の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。 • 本機の放熱を妨げる様な設置をしていないか確認してください。	5
	スピーカーケーブルの芯線どうし（＋/－）が接触していたり、芯線がルヤパネル等、他の金属部分に接触したために保護回路が働いている。	• 一度電源を切って、スピーカーケーブルの接続を確認してください。 • スピーカーケーブルの芯線の端末処理をやり直して下さい	9
	本機の性能を上回る大音量で再生している。	一度電源を切って、本機に接続しているコントロールアンプのボリュームを下げてから、電源を入れ直してください。	-
	指定されたインピーダンス以下（6 Ω未満）のスピーカーを使用している。	指定のインピーダンスのスピーカーを使用してください。	9
突然電源が切れてスタンバイインジケーターが速い点滅をしている。 （1秒間に約8回点滅）	本機の保護回路が働いています。	電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービスセンターに修理を依頼してください。	19

本機のリセット

本機にはマイクロコントローラー（マイコン）が使われています。
以下の操作を行うことで、マイコンをリセットすることができます。

1. 本機をスタンバイ又は電源を ON にします。

2. 矢印の先の穴の奥にあるリセットスイッチを先が細い針の様なもので 1 秒以上押し続けます。

3. 本機の電源が ON しているときは、一度スタンバイ状態になった後、マイコンが初期化され再度電源が ON します。
スタンバイ状態でリセットするとマイコンが初期化された後に電源が ON します。

その他

仕様

定格出力
（20Hz～20kHz/THD=0.08%、2ch同時駆動）
.... 140W/ch 8 Ω
.... 170W/ch 6 Ω

実用最大出力（1kHz JEITA）............220W/ch 6 Ω

出力帯域幅（8 Ω負荷、0.09%）.........5Hz～40KHz

周波数特性（1W 8 Ω）....8Hz～100KHz（±3dB）

ダンピングファクター 100

入力感度 / インピーダンス
.... 1.2V/22K Ω（UNBALANCED）
..........................2.4V/30K Ω（BALANCED）

S/N比（IHF-A）... 105dB

電圧増幅度.. 29dB

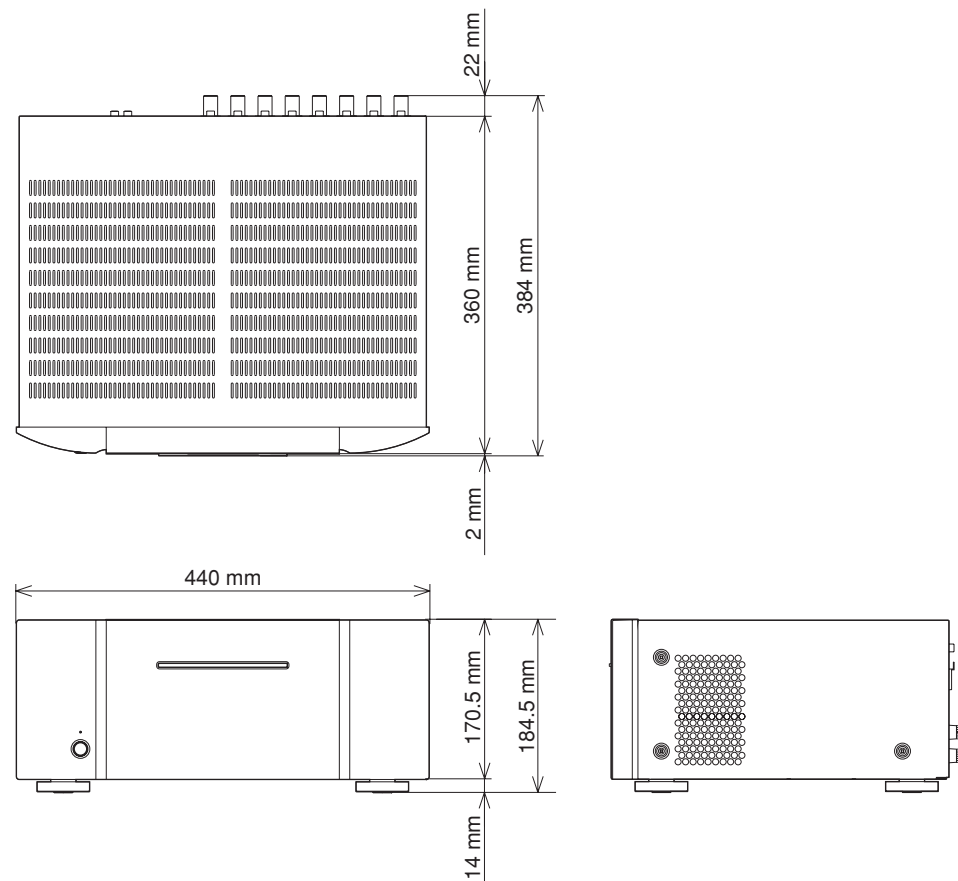
電源電圧..................................... AC100V 50/60Hz

消費電力（電気用品安全法による）................. 860W

待機電力（スタンバイ）.....................................0.4W

質量 17.9kg

付属品
- 電源コード..1
- リモートコントロールケーブル 1
- 保証書（箱に貼り付け）......................................1
- 取扱説明書（本書）..1

外形寸法

お手入れ

- セットが汚れた時は柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどい時は食器用洗剤を5～6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

ステレオ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮（思いやり）を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。

2. 本体の保証期間はお買い上げ日より1年間です。お買い上げ販売店又は弊社営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」致します。

3. 保証期間経過後の修理について。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。

5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載のお客様相談センターに遠慮なくご相談ください。

6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度“困ったときは”（17ページ）をご参照の上よくお調べください。それでも直らない時は、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ販売店または当社営業所、サービスセンターにご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1）品 名　8チャンネルパワーアンプ
2）品 番　MM8003
3）シリアルナンバー（製造番号）
4）お買上げ日　年　月　日
5）故障の状況（できるだけ具体的に）
6）ご住所
7）お名前
8）電話番号

marantz®

お客様ご相談センター

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9：30－12：00　13：00－17：00

（土　日　祝日　当社休日を除く）

修理に関しましては 添付の「 **製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内** 」をご覧ください。

株式会社マランツコンシューマー マーケティング

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。

http://www.marantz.jp

Printed in China

04/2008　541110073017M　mzh-d